



川西市議員

# 北上 哲仁

きたうへと  
きあきひと

編集 北上哲仁サポーターズ

事務所 萩原台東1-275-3ふると広場萩原台2階

自宅 萩原1-11-2-1

TEL 072-758-7724 FAX 072-758-7725

携帯 090-3613-7069

e-mail akihito@kitauue.com

活動報告

## いなほだより 33号

1951年12月7日 第三種郵便物認可社会新報/号外  
社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)  
東京都千代田区永田町1-8-1 電話(代)03(3580)1171  
口定価180円 口1か月700円 口送料160円

市議会に送って頂いて今秋でまる8年、2期目の任期満了になります。これまで「小さな声を大切に、市民のみなさんと一緒に新しい政治をつくる」という初心を貫いてきました。これからも市民のみなさんと語り合い、共に考え、活動していきます。

## ひとり一人が大切にされる川西に。 2期8年の経験と貫く初心

### 議員の 主な仕事は3つ

#### 1 議会活動

議会での活動は、市が提出する議案や資料を精査し質問や討論をすることが基本です。しかし、それだけでは不十分だと考えます。私は現場の声や当事者の声を大切に、質問や政策をつくってきました。

特に子どもや高齢者、障がい者、セクシャルマイノリティ、外国籍市民、非正規労働者、単身親家庭など社会的に弱い立場、少数の立場にこだわって議会で質問や提言をしています。



市民の思いに応えたいと緊張感を持って議会で発言。



#### 2 地域の市民運動を担うこと

市民のみなさんと力を合わせ里山保全やごみ問題、子育てや人権、反原発、食の安全などについて、学習会や署名、行政機関への申し入れなどの活動を展開しています。

また、私たちの暮らしの基本は平和であることを訴え、憲法を活かす運動を行っています。

多くのみなさんとの絆をもとに、これからも地域での運動を続けていきます。

#### 3 市民相談

「しごと・くらし何でも相談」にも力を入れています。不当解雇、多重債務、地域の課題、家庭の問題など、8年間に様々な相談が寄せられました。必要に応じて弁護士や税理士、労働組合など専門家の力をお借りし、相談者と共に解決に向けて努力してきました。

個別の悩みや困りごとから、市政の課題や制度の不備などを学び、議会活動などにもつなげています。



里山の保全をめざし国崎大山桜見学会を催す。



川西能勢口で憲法9条の大切さをアピール。



### 北上の重点課題

#### ■まず、地域福祉

福祉の現場で働いた経験を活かし、当事者や家族とともに施策拡充を求めています。高齢者が元気に地域で活躍できる仕組みづくりを進めます。認知症の予防・啓発、成年後見制度などの権利擁護施策や高齢者虐待防止策の拡充に努めます。障がいのある人が生涯にわたり自分らしく安心して暮らせる施策が必要です。就学前の療育から特別支援教育、就労、高齢期の支援まで、拡充するべき課題は山積しています。

#### ■いのちと自然をまもりま

地域医療を守るための取り組みを進めます。市立川西病院と近隣自治体病院や民間医療機関との連携と役割分担を提案しています。アトピー・アレルギーの対応策を進めます。防災・防犯対策を研究し、市民の皆さんと共に実践します。

猪名川や里山、身近な自然の保全・活用に向け活動します。地域農業を大切に、生産緑地をまもりま

#### ■子育て・子育て支援

子育て世代の議員として子どもたちの声、親の声届けます。児童虐待や育児放棄を防ぐため、市独自の取り組みを進めます。就学前までの医療費無料化、保育施策の充実、プレイパーク(冒険遊び場)開設、公園遊具整備などを議会で訴えています。先生の多忙化を解消し、ひとり一人に向き合う学校教育をめざし、少人数(30人)学級を実現します。

#### ■まちに元気と潤いを

全ての市民の移動のしやすさを確保するため、交通政策の更なる拡充に取り組みます。中央北地区再開発や川西能勢口駅周辺の活性化については、生活者の視点に立って、近隣自治体や市域全体の状況を見据えてニーズにかなう提言を続けます。スポーツ・芸術文化の振興、生涯学習施策の拡充に努めます。

#### ■市民の視点でチェックと提言

しがらみにとらわれず、不必要な事業の廃止を提案し、市民にとって必要な事業の廃止には断固反対します。広域ごみ処理施設建設にからむ不当に高額な土地買収に対しては住民訴訟で闘いました。目先の損得だけでなく、将来を見据えてチェックと提言を行います。

# 子育て世代の代表として

現在6歳の娘が初めて「ハハ」と言ってくれた時の驚きと喜びは、どう表現したらよいのか分からない程でした。そして「まんま」「はあば」などから始まり少しずつ言葉を覚え、いつの間にか会話が成り立つようになりました。「しりとり」を覚える頃には、とても良い話し相手になってくれていました。

幾つかの忘れられない会話があります。4歳の頃です。天気の良いある日、近くの神社にお参りました。帰りに「何を願ったの?」と尋ねると「ママに赤ちゃんができますように」とサラッと答えたのです。ドキッとしました。その一年後、五歳年下の弟が誕生したのです。

その約半年後、娘に「一番好きな人は誰?」と半ば冗談できくと「耕ちゃん」と一歳に満たない弟の名を挙げました。「どうして?」と続けると「だって、守ってあげないといけないでしょ」と言いました。年長であることの自覚と責任感を子どもなりにしっかりと持っていることに感動しました。

## 子育て・子育て支援に全力投球

私は数少ない子育て世代の議員としての使命をしっかりと果たしていきたいと考えます。現在、小学校一年生の娘は公立保育所に4年間、民間幼稚園に1年間通いました。1歳半の息子は保育所持機児童です。妻は育児休暇取得による不当な解雇通告を受け、仲間の支援で解雇撤回を勝ち取りました。私は子育ての課題に直面するその現場から、子どもの声、親の声を市政に届けます。子どもたちをめぐる悲しい出来事が続いています。子育ては親の役割であると同時に、行政の役割は「子育て・子育て」を社会的に支える仕組みをつくることです。子どもが実際に育つ地方自治体の役割は、特に大きいと思います。

日本社会が少子化するなか、子育て世代、働き盛りの世代にとって住みたいと思えるまちにすることは重要です。そのことが、まちを元気にし、結果的に税収を増やし市の財政状況を好転させることにもつながるのです。



娘を保育所に送るのが日課でした。(1歳の頃)



工事中の国崎クリーンセンターを視察。どんな課題でも現場に出向き調査することを心がけています。



子どもたちに将来を教養。全ての子どもが生き生きと育むため、保育・教育環境の整備に取り組んでいます。



防犯訓練で人質役を飾るなど、安心・安全な川西をめざし日々活動しています。



「川西市子どもの人権オンブズパーソン」の視察に訪れた国連ユニセフのトロント・ボグさんと意見交換。



世田谷区羽根木プレイパークを視察。議会でも子どもの遊び場、居場所づくりの重要性を訴えています。



反核・平和の火リレーに参加、ヒロシマの火を掲げて走りました。仲間のみなさんと。

## 川西の学校給食、完全米飯に。食物アレルギー対応、食育、地産地消が前進!

小学生の保護者から学校給食の「アレルギー対応をして欲しい」「米飯給食を増やし和食中心の健康に良い献立を」との市民相談がありました。相談者と一緒に仲間を増やし、改善を求める要望書を市に提出しました。教育委員会や調理現場の職員との話し合いを続け、学習会を催し、議会でも再三取り上げました。教育委員会に「学校給食食物アレルギー対応推進委員会」が発足し、全小中学校でアレルギー対応が行われるようになりました。

私が議員になった当初、米飯給食は週1回で県下最低の回数でした。議会での訴え

が実り米飯は2回、3回と徐々に増え、今年度2学期からは、週5日の完全米飯給食になったのです。新聞にも「(県内)都市部としては初めてとなり、全国的にも珍しい」と紹介されました。学校給食で使われる輸入小麦は残留農薬の不安があります。米飯給食のお米は川西産米・近隣産米で地産地消が実現するのです。主食がご飯になることによって、より安全な給食になります。また、伝統的な和食中心の献立になります。

市民の声が運動をつくり、市政を動かしたのです。

## きめ細かな交通政策を

私は川西市交通政策交通問題協議会委員として2期8年間、公共交通の拡充など交通政策に取り組んできました。交通運輸産業で働くみなさんとともに、市・県・県警の担当職員と定期的に話し合いをもっています。川西市が住宅都市として更に成熟していくために、また環境や福祉の観点からも交通政策は重要な課題です。交通過疎地域の「買い物難民」が全国的に話題になっています。川西市には急勾配の住宅地や駅やバス停へのアクセスが不便な地域があり、コミュニティバス運行など、きめ細かな交通政策が求められています。これからも交通政策を活動の大きな柱として取り組んでいきます。



武蔵野市のコミュニティバスを視察

## 市民運動の要として北上さんが必要です

地域に生きる川西市民の会 安田晴久(党台)

北上さんは前向きな姿勢と地道な働きによって、様々な市民運動の要の役割を果たしてくれています。食の安全や環境、福祉、地域の労働問題などの身近なことから、「憲法を活かしまる新聞意見広告運動」や兵庫住基ネット差し止め訴訟など国政に関わる課題まで、北上さんは運動を提起しリードしてくれました。毎年アステホールがほぼ満席になる「戦争で幸せになる子どもは、いない!」実行委員会主催の市民の集い。これまで、小森陽一さん(九条の会事務局長)、香山リカさん(精神科医)、雨宮処凛さん(作家)、佐高信さん(評論家)、伊藤真さん(弁護士・伊藤塾塾長)の講演を催してきました。この集いの屋台骨は北上さんが支えています。

北上さんがいるから運動が生まれ、仲間がひろがると言っても過言ではありません。これからも北上さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

## 「しごと・くらし何でも相談」

普段のお仕事や生活で、お困りのことや不安なことはありませんか。一人で悩まず一緒に考えましょう。寄せられた相談から、化学物質過敏症やアレルギーについて市の対応を充実させました。「出産したから」「労働組合に入ったから」、そんな不当解雇を撤回させました。お気軽にご相談ください。

- 顧問 猿丸功税理士 井上みえ社会福祉士 大川朗子司法書士
- 相談員 須須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士
- 大川一夫弁護士 在間秀和弁護士



## 北上哲仁 39歳

### ■プロフィール

1971年猪名川町生まれ。町立中谷中学校、県立猪名川高校卒業。94年和光大学卒業後、川西市社会福祉事業団職員。知的障がい者の職業指導に取り組む。97年衆議院議員中川ともこ公設秘書に。99年東ティモールの独立を問う「国連選挙監視団」参加。02年川西市議会議員初当選。現在2期目、市監査委員、厚生経済常任委員長、まちづくり調査特別委員長等を務める。06年川西中央保育所保護者会長。10年日韓進歩陣営共同政策討論会(ソウル)参加。現在、萩原一丁目自治会長、川西北コミュニティ連絡協議会総務、川西北小学校区人権啓発推進委員長、川西市交通問題協議会委員、都市計画審議会委員、社民党川西支部代表等を務める。家族は妻、娘(小一)、息子(1歳)。



東ティモールの子どもたち。

## 私たちが北上哲仁さんを応援します。

- 石本紋子 学校給食を考える会「おかわり」(東多田)
- 上杉孝實 京都大学名誉教授(湯山台)
- 原イツ子 主婦(清和台東)
- 河井喜代子 染色工芸作家(緑が丘)
- 木村佳友 日本介助犬使用者の会会長
- 小牧千子 薬剤師(美山台)
- 小松立周 柔道整復師/鍼灸師(緑台)
- 小乃里子 ラジオパーソナリティ
- 在間秀和 弁護士/元兵庫住基ネット訴訟弁護団
- 佐高信 評論家
- 台丸谷清美 前萩原一丁目自治会会長
- 高須厚子 介護福祉士(多田院)
- 竹内佳也子 クリーニング店経営(大和西)
- 馬場美智子 パレエ団・パレエアカデミー主宰(栄町)
- 早瀬和人 日本基督教団能勢口教会牧師(小花)
- 山岸ゆり よりよ葉ふるさと広場萩原台店長
- 山中純 いのちと食と環境を考える会(南花屋敷)

北上哲仁サポーターズの活動は市民のみなさんの力によって支えられています。活動報告「いなほだより」は年4回発行しています。あなたもサポーターになってください。年会費1,000円 郵便振込/00970-9-48158 北上哲仁サポーターズ